

## 第35回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

### C.都市の再興・まちづくり

【HP 掲載No. C05】

発表No.	C03
タイトル	商店街のキャッシュレス推進における現状の課題と対策について ～埼玉県鴻巣市の事例～
所属・名前	ものづくり大学大学院 田尻 要 河合 悠希 小池 優貴 ものづくり大学大学院田尻研究室 守家 和志 埼玉県立いずみ高等学校 木村 奏太
キーワード	① 商店街活性化 ② キャッシュレス決済 ③ 高齢者
<p>経済産業省は、2025年までにキャッシュレス決済比率を4割程度にする目標を掲げており、現在国内の事業者は大企業から中小企業まで、消費者は子供からスマート技術の扱いが難しいとされている高齢者までの多くが、キャッシュレス決済を使用するまでに至った。しかしながら、手数料がかかることや、電子機器の扱いへの懸念から、キャッシュレス決済導入に消極的な事業者も多く、規模の大きな商店ではキャッシュレス決済の導入が進んでいるものの、商店街に多い小売店では十分な普及に至っていないため、キャッシュレス推進における事業者の障壁をより詳細に把握し検討する必要がある。</p> <p>そこで本研究は、埼玉県鴻巣市の鴻巣商店街を事例として、事業者におけるキャッシュレス決済導入への抵抗や、周辺住民がどのような決済の活用を行っているのかを把握することによって、キャッシュレスを活用したより良い商店街の運営について基礎的検討を行った。</p>	